

## 会 議 録 (要 旨)

会議の名称	令和2年度 第1回 行政改革推進委員会		
開催日時	令和2年6月26日(金) 午後2時～午後3時		
開催場所	南アルプス市役所 本庁舎 3階 大会議室	公開の可否	可
事務局	総合政策部 政策推進課	傍聴者数	0人
出席者	委員	花輪委員、石川委員、北村委員、近藤委員、青柳委員、今村委員、土屋委員 藤巻委員、上野委員、加藤委員、鈴木委員、秋山委員、荻野委員	
	関係者	外川アドバイザー	
	事務局	内田総合政策部長、野田課長、中込課長補佐、向山、内藤、望月	
欠席者	なし		
内 容			
<p>1 開会 午後2時</p> <p>2 委嘱状交付</p> <p>3 会長選出及び会長職務代理の指名 花輪委員を会長として選出し、石川委員が会長職務代理として指名された。</p> <p>4 委員・アドバイザー・事務局紹介</p> <p>5 市長あいさつ</p> <p>6 会長あいさつ</p> <p>7 南アルプス市行政改革推進委員会への諮問</p> <p><b>【協議事項】</b></p> <p>(1) 第4次南アルプス市行政改革大綱について 事務局より内容を説明</p> <p>(主な意見、質問)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期大綱及び計画策定に向けて5つの視点が挙げられているが、そのうちの市民目線とは具体的に どうしているのか。 →行政的な立場ではなく、市民の視点に基づいて市民のニーズを的確に取り入れていきたいと考 えている。具体的なものについては、委員の意見を伺って大綱に入れていきたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の第2波が訪れようとしていて、年内に元の生活に戻るといことは考</li> </ul>			

えられない。これからは新型コロナウイルスと付き合っていかなければならないということが言われている。第4次行政改革大綱の期間においても、新型コロナウイルスとの共存は考えないといけない大きな点になると考えているので、大綱に加えてほしい。

→たしかに新型コロナウイルスも生活に大きな影響を及ぼすとは思いますが、行政改革なのでコロナウイルスだけにとらわれるのもいかなものか。

・5つの視点に新型コロナウイルスについて追加するというのはどうか。

→コロナのみならずどんな災害が起きてくるかわからない。そういったときに、市民からの目線であるとか、対応するスピード感であるとか、特定の部分ではなくいろんな状況変化に対応できる視点になってくると思うので、特別に新型コロナウイルスについて入れなくても対応していく大綱にしていければと考えている。

・政府も新しい生活様式を模索していかなければならないとしているので、次期の大綱にも組み入れなければいけないという意味だと国民の一人として受け取っている。

(アドバイザーより)

これからは新型コロナウイルスと共生していかなければならないということで、新型コロナウイルス感染症対策というのは大変重要であると思っている。ただし、行政改革は新型コロナウイルスの有無に関係なく、進めていかなければならないものである。したがって、新型コロナウイルスによって掲げられている方針が変わっていくということではなく、その方針に基づく個々の具体的な取組の中に新型コロナウイルスを意識したものをに入れていくということではないか。

・行政改革大綱の期間は5年でなければいけないのか。市長選が4年ごとなので市長の任期とリンクさせることはできないのか。5年というのは長すぎるので、4年もしくは3年にはできないのか。

→行政改革大綱に限らず、本市の総合計画でも市長の任期と合わせるということも課題となっていた。しかし、任期と合わせると1年目を計画策定に費やしてしまう。3年となると2年しか実動期間がないということもあり、今回の総合計画での見直しは見送った。即効性のあるものでもないので、ある程度の期間をとって検証していく中で見直していく形になると4年ないし5年が適当であると考えている。3年では中1、2年しかないので、すぐ見直しとなると成果を見る時に短すぎると思う。市長選に合わせるとなると、どこかで長めにするか短めにするか調整の必要が出てくる。今の時点だと継続性を持たせる意味で5年間というのが適当ではないかと考えている。

・民間の会社では、昔は10年計画であったがだんだん短くなり、2年計画、1年半計画と短期化している。特に今は「ウィズコロナ」という観点から言うと仕事のやり方や環境が激変する。具体性のあまりないものを並べて5年間やっていくのはどうかと思う。民間のことも参考意見として述べさせてもらったので念頭に入れてほしい。

(アドバイザーより)

総合計画について、最近では市長の任期に合わせて4年計画というものが増えている。総合計画と行政改革大綱は違うが、市長によっては行政改革を目玉とする場合もある。その場合は改訂し、大綱を見直していくというのが良いのではないか。

・5つの視点の中でスピード感はとても大事だと思っている。市民目線でいうと旧完熟農園の跡地の問題についてはどうなっているんだろう、全然進展していないんじゃないかというのが正直なところである。市民としては、現状どうなっているか分かっていないので、チラシでも何でも構わないので市民に知らせてほしい。できるだけ早くと言いながら、未だにどうなっているのかというのがほとんど

どの市民目線だと思われるので、スピード感が大事だと思う。

・第3次行政改革実施計画の評価について、評価がどのように推移しているかこの表ではわからないので、推移がわかれば見やすいのではないか。

→この表については、前回の参考ということで提出させてもらった。平成31年度の評価については改めてお示しして説明する予定である。

・第3次行政改革実施計画の取組達成度Dについて、評価の説明の記載がないがどうなっているのか。

→資料上では見えなくなっていて申し訳ない。取組達成度Dについては「目標が未達成で取組が困難なもの」という評価である。今回は該当する項目はなかった。

・新しい委員もいるので今後の流れについて説明してほしい。

→行政改革の基礎について勉強会を実施したいと考えている。委員会の中で実施するのか、委員会とは別に勉強会として実施するのかご協議いただきたい。

また、大綱を作るにあたって委員会を5回から6回実施したいと考えている。第2回を7月29日(水)午後の開催を予定しており、大綱の具体的な事務局案を提出する予定である。9月下旬から10月上旬に委員の意見を反映させた大綱の素案を、10月には明確な案を示し、実施計画等については10月から11月に改めて協議させてもらう。12月から1月にかけてパブリックコメントを予定している。1月には大綱及び実施計画の答申案を決定し、2月には議会等へ報告をしていきたい。令和3年4月から大綱を公表して、計画を進めていく予定である。

(会長より)

勉強会について、委員会の中で実施していくのか、希望者が別の日に集まって実施していくのかご意見は。

・行政改革とは勉強会をしないとできないものなのか。何期もされている委員もいるし、単に意見を述べていけばいいのではないか。

→第3次の策定は5年前になるので、2期目の方も最初から携わった方はいない。3期目の方も携わったかという部分もある。第4次の行政改革大綱を策定するにあたり、意思統一を図る中で策定した方が良いものができるのではないかとということで提案させてもらった。

・2年前に勉強会に参加させてもらった際に感じたのは、南アルプス市は6町村が合併していることから、市独自の行政改革が必要な地域であると思った。できれば、全体の行政改革とともに、南アルプス市の抱えている問題や行革についても勉強したい。

(アドバイザーより)

資料の中にも市民のエンパワーメントという言葉があるが、専門用語が沢山出てくるため行政改革大綱を委員の方々で作っていくというのは非常に難しいことだと考えている。勉強会では、それらの基本的なことと全体的な動きについてお話ししたい。行革について、全部をお話しすることはできないので、いくつかについてお話ししたい。南アルプス市の抱えている問題の話になると私からではなく、事務局に説明してもらう必要がある。一方的に話すのではなく話し合いができれば良いと思っている。

・委員会の中だと別の議題もあることから、委員会とは別に勉強会を開くほうが深い話ができると思う。

(会長より)

委員会は委員会として議題を協議して、勉強会は勉強会として深く学ぶためにそれぞれ実施することで事務局が調整してよろしいか。

→2回目が7月29日を予定しており、勉強会の日程の調整ができていないところ。同日で時間を分けて実施しても良いか。

・個人的には、同日に時間を区切って実施してもらったほうが良い。テーマをどうするか目的を明確にしたほうがいい。

→同日のほうが負担は少ないと思うので、時間を調整して予め資料を事前に送ってテーマを明確にした上で、勉強会と第2回の委員会を実施したい。

・現在、市で2時間以上会議をしないよう呼び掛けているので時間を分けたほうがいい。

→その点についても調整をしたうえで実施する。

・資料を事前に送るという話だが、今回の資料の中で数字が明らかになっていない部分が多く見受けられた。評価をするのであれば、数字を明らかにしてほしい。

(2) その他

次回は7月29日(水)に開催する。勉強会のテーマ等については調整して連絡する。

○閉会 午後3時

備 考	
-----	--